

平成26年度 事業計画

・平成26年度 岡山県社会保険労務士会事業計画（指針）

岡山県社会保険労務士会は、全国社会保険労務士会連合会（以下「連合会」という。）と連携を図り、国民の負託に応えられるよう、積極的に事業活動に取り組み、社会保険労務士（以下「社労士」という）の法律専門職としての社会的地位と職域拡充のさらなる向上に努める。

とりわけ、新たに連合会に設置された社労士制度推進戦略室を核として打ち出された重点戦略に沿って、社労士制度の将来展望を見出すため、行政機関等の委託事業に留まらず、広く社会貢献活動を果たす一方で、社労士個々のビジネス基盤を構築するために、専門領域における優位性の強化を図ることを目標とし、以下の事業を実施する。

- 1 国家資格者として専門能力を活かせる事業を積極的に展開する
 - ・「街角の年金相談センター岡山」の運営
 - ・「年金相談窓口等の運営業務」の受託
 - ・「医療労務管理相談コーナー事業」の実施（新規事業）
 - ・「就職支援セミナー開催事業」の実施
 - ・「生涯現役社会実現環境整備事業」の実施
 - ・「ゆうちょ銀行」年金サポート事業の実施

- 2 国民に信頼される専門家としての能力を担保する研修事業
 - ・ADR研修（あっせん員の能力担保研修）
 - ・労務管理実務研修
 - ・労働条件審査研修会
 - ・安全管理研修
 - ・電子申請の利用促進に向けての研修
 - ・法改正研修
 - ・倫理研修
 - ・新規入会者研修（オリエンテーション）

3 県会活動の効果的な広報事業

- ・ ホームページをリニューアルし効果的な広報を展開する
- ・ 社労士月間セミナーの実施と新聞広告の掲載
- ・ 県内市町村の広報誌を活用した社労士業務のPR
- ・ 労働相談コーナーの広報を強化し「ADRセンター」の実績向上を図る
- ・ 「労働条件審査」を地方公共団体に導入するための広報活動の実施
- ・ 自由業団体連絡協議会での他土業との連携強化
- ・ 弁護士会との合同勉強会等他土業との交流推進

4 社会貢献の事業

- ・ 「がん患者支援事業」の広報活動と会員研修の実施（新規事業）
- ・ 日本年金機構の「地域年金展開事業」への協力（新規事業）
- ・ 職業専門学校・高等学校を中心とした学校出前授業の実施
- ・ 成年後見事業への取り組み方について今後の方針を定める

5 その他の事業

- ・ 会員間の親睦交流を図る情報交換会の開催（社労士の日）
- ・ 「土業フォーラム」への会員参加を積極的に推進する
- ・ 自由業団体連絡協議会の無料相談会への協力
- ・ 中国・四国地域協議会会長杯ソフトボール大会への参加
- ・ 社労士法制定50周年記念事業として「記念誌」編纂事業の推進

6 「年金相談窓口等の運營業務」および「街角の年金相談センター岡山」の運営について

平成26年度より日本年金機構の中期計画に沿った新たな委託事業がスタートします。昨年度をもって「消えた年金記録問題」にひとまず区切りを付け、年金記録に関する確認は、「街角の年金相談センター岡山」や各年金事務所の相談窓口を通しての調査によることとなります。

また、今年度からは年金受給年齢の引き上げにより一時減少していた窓口での相談件数も増加しています。「街角の年金相談センター岡山」の職員ならびに業務委託社労士は、お客様の相談に懇切丁寧に対応し、引き続き年金制度の信頼回復に努める所存であります。

今後は、年金に関する知識集団としての窓口相談員を確実に養成し、国民の皆様に対して満足度の高いサービスを提供できますよう、日々努力し業務に邁進してまいりますことをお約束いたします。